

## 【職場討議資料より④】

# 大幅賃上げ・大幅増員で医療・介護守る 三位一体24春闘トリプル・アクション

- **対使用者** 2/22要求提出 3/13回答指定 3/14スト配置
- **対政府** 3/6-7中央行動・政府交渉、経団連・財務省包囲
- **対自治体** 地方議会請願・自治体要請 4/18関経連包囲

■ **ケア労働者大幅賃上げ・大幅増員へ、「報酬再改定」を世論にアピール！**

24春闘は、使用者・政府・自治体「三位一体」でケア労働者の大幅賃上げ・大幅増員を求め、医療・看護・介護を守るため、その必要性を世論に大きくアピールし、要求前進をめざす春闘です！

### ▶ 使用者に向けて

政府は、不十分ながら、報酬改定によるケア財源と介護職等の処遇改善補助金を用意します。



使用者は、この財源を賃上げにまわし、職員の暮らしを守り、人材を確保するため、最大限の努力で労働組合の要求に応える責任があります。「ケア春闘」の流れのなか、労働組合の要求に応え、大幅賃上げを実現することは、経営者の社会的責務です。

全医労は、23年の賃金確定に向け3/1スト配置！相互支援を強めよう！

### ▶ 国に向けて

さらに、国の用意したケア財源が、首相自ら口にする「物価上昇を上回る賃上げ」を実現するものになっておらず、公的価格で決まるケア労働者の賃上げに、国が責任を果たしていないことを可視化、世論にアピールし、報酬再改定を求めています。



### ▶ 自治体に向けて

また、京都府は、策定中の医療計画などに基づき、医師・看護師・介護職員の確保を進める責任があります。独自の処遇改善や確保対策の強化を求めましょう。市町村にも、住民のいのち・暮らしを守る医療・介護に責任があります。自治体要請・議会請願を通じ、地方から国へ、「ケア労働の賃上げ・人材確保に責任を果たせ」の声を上げましょう。



### ● さらに、財界に対しても

医療・介護労働者の「低賃金構造」をつくり出してきた元凶は、政府の社会保障費抑制政策です。そして、社会問題化している「政治と金」＝企業団体献金を通じ、大企業・富裕層を優遇し、社会保障は抑制する政策を求めてきたのが財界・大企業です。社会保障の抑制を、「金の力」で政治に求める財界にも、断固、抗議の声を上げましょう。

